

開館40周年記念 カナダ建国150周年記念  
企画展

「カナダ先住民の文化の力  
過去、現在、未来」

カナダは2017年に建国150周年を迎えました。同国と先住民との関係の変化に着目しながら、多様な先住民文化の歴史と現状、未来を紹介します。

会期 12月5日(火)まで  
会場 本館企画展示場

■関連イベント  
ギャラリートーク

日時 企画展開催期間中の月曜・木曜14時～  
会場 本館企画展示場  
※申込不要、要展示観覧券  
※都合により時間帯が変更になる場合があります。



北西海岸先住民トリングットの儀礼用かぶりもの

開館40周年記念企画展  
アイヌ工芸品展  
「現れよ。森羅の生命」  
木彫家 藤戸竹喜の世界



「鹿を襲う熊と狼」藤戸竹喜 作

熊をはじめとする北の動物たちからアイヌ文化伝承者の等身大の彫像まで、藤戸竹喜(1934)の主な作品をお話し、創作活動の軌跡とその背景をたどります。

会期 2018年1月11日(木)～3月13日(火)  
会場 本館企画展示場

開館40周年記念新着資料展示  
「標交紀のコーヒー世界」

伝説の自家焙煎咖啡店「もか」の店主、標交紀が集めたコーヒー関連資料をもとに、中東から日本へ伝わり、独自に磨かれたコーヒーの世界を紹介いたします。

会期 11月14日(火)まで  
会場 本館ナビひろば

開館40周年記念写真展  
「世界のフィールドからみんなくへ」

本館の収蔵品、展示品の母体をつくりあげたフィールドワークや収集作業の様子を、当時の写真から紹介します。

会期 11月9日(木)～12月26日(火)  
会場 本館各展示場

年末年始展示イベント「いぬ」

2018年の干支である「いぬ」をテーマに、みんなく所蔵の資料や写真を展示し、世界各地の「いぬ」を紹介いたします。

会期 12月14日(木)～2018年1月30日(火)  
会場 本館ナビひろば



ニャウの踊り手。死者の霊の化身とされる

みんなくウィークエンド・サロン  
研究者と話をしよう

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。

11月5日(日)14時30分～15時 中央・北アジア展示場  
カザフの天幕——住居から祝祭の空間へ  
話者 藤本透子(本館准教授)

11月12日(日)14時30分～15時15分 本館第5セミナー室  
娯楽の場としてのコーヒーハウス  
——イランのカフエ・ハーネ  
話者 山中由里子(本館准教授)

11月26日(日)14時30分～15時30分 本館ナビひろば  
博物館の中の文化遺産、博物館の外の文化遺産  
話者 飯田卓(本館准教授)

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)  
ただし、12日(日)は展示観覧券不要

みんなく映画会  
第38回ワールドシネマ  
「火の山のマリヤ」

グアテマラの高地に暮らす17歳のマヤ人のマリアの運命をお話し、現代社会における先住民マヤの問題を考えます。

日時 11月5日(日)13時30分～16時(13時開場)  
会場 本館講堂(定員450名)  
※申込不要、要展示観覧券  
※入場整理券を当日11時から本館2階講堂前に配布

公開講演会  
「料理と人間」

食から成熟社会を問いなおす」  
生態資源の利用、共食や分配等の社会的機能、味や食感を伝える調理の技術等、食に関わるさまざまな要素から、文明と文化の境界面としての料理を考えます。

日時 11月17日(金)18時30分～20時40分  
(開場17時30分)  
講師 野林厚志(本館教授)  
中嶋康博(東京大学大学院教授)  
宇田川妙子(本館准教授)  
総合同会 福岡正太(本館准教授)  
会場 日経ホール(東京、定員600名)  
主催 国立民族学博物館、日本経済新聞社  
※要事前申込、参加無料、手話通訳あり  
お問い合わせ先  
研究協力課研究協力係  
06-6878-8209

カムイノミ(神への祈り)

本館に所蔵されているアイヌの標本資料への感謝と安全を願い、北海道アイヌ協会の協力をえて、カムイノミをおこないます。

日時 11月30日(木)10時30分～11時50分  
会場 本館玄関前広場(雨天の場合、古式舞踊はエントランスホールにて実施)  
※見学可能、申込不要

アイヌ工芸 in みんなく

アイヌ民族が培ってきたもの作りの技術や知恵、伝統から創造された数々の作品にふれてみませんか。北海道アイヌ協会優秀工芸師による「刺しゅう」や「木彫」の実演が行われます。

日時 11月30日(木)～12月3日(日)  
11時～16時  
会場 本館エントランスホール  
◆もの作りワークショップ  
アイヌ文様を「糸巻き」に彫ったり、「布コスター」に刺したりしてみましよう。  
時間 11時～16時(15時受付終了)  
※各日定員10名、先着順、材料費500円

連続講座

「みんなく×ナレッジキャピタル  
「フィールドワークを語る」

この秋開館40周年を迎えるみんなくは、展示を生み出すこととなった、数多くのフィールドワークについてお話しします。資料や研究者の来し方についてお話しをさせ、これからのみんなくは、興味をもつていただく機会になればと思います(全6回)。

会場 グランフロント大阪北館1階 ナレッジキャピタル「カフェラボ」  
※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員各回50名  
主催 国立民族学博物館  
一般社団法人ナレッジキャピタル  
日時 11月27日(月)  
19時～20時30分(18時30分開場)  
講師 飯田卓(本館准教授)  
お申し込み・お問い合わせ先  
一般社団法人ナレッジキャピタル  
06-6372-6530

友の会

友の会講演会

【第90回民族学研修の旅関連】  
「巨石の島に生きる」  
講師 佐藤浩司(本館准教授)

【東京】 第120回 東京講演会  
11月23日(木) 祝 13時30分～14時40分  
会場 モンペル御徒町店4Fサロン(申込先着順・定員60名)

【大阪】 第472回 友の会講演会  
12月2日(土) 13時30分～14時40分  
会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)

一万を超える島嶼に(100以上の民族が暮らすインドネシア。ここでは、島ごと、民族ごとに異なる個性豊かな木造家屋が生み出されてきました。なかでも独特の巨石文化と、船さながらに家屋が並ぶ壮大な集落景観が知られているニアス島では、今も人が溢れ、あたりまえのように日常生活が営まれています。ニアス島だけが何故、伝統的集落を維持し続けることができるのでしょうか。ニアス島を中心に、インドネシアの伝統家屋、そして建築文化財が直面する課題について考えます。

【大阪】 第473回 友の会講演会  
2018年1月6日(土) 13時30分～14時40分  
みんなく名譽教授シリーズ  
「日本文明の夜明け」——梅棹忠夫と三内丸山遺跡  
講師 小山修三(本館名譽教授)

会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)

【東京】 第121回 東京講演会  
2018年1月27日(土) 13時30分～14時40分  
北東アジア地域研究拠点関連  
「カザフの食と儀礼」——ひとの一生を彩る草原の恵み  
講師 藤本透子(本館准教授)

会場 モンペル御徒町店4Fサロン(申込先着順・定員60名)  
講いずれの講演会も、会員無料(会員登録提示、一般500円。講演会終了後、講師を囲んで懇談会40分をおこないます。

第90回民族学研修の旅  
インドネシア、ニアス島と  
スマトラ島北部の住まいを訪ねる

2018年3月10日(土)～18日(日)9日間

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716  
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp